

学習指導要領		都立六本木高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p>	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会契約説の内容について理解を深める。 絶対王政と市民革命の経緯について理解を深める。 人権宣言の理念について理解を深める。 現代の民主政治の在り方について、ともに考察する。</li> <li>2 日本国憲法の特徴について理解を深める。 その際、大日本帝国憲法を参考として理解を深める。 その上で、日本国憲法の在り方について考察する。</li> <li>3 日本の三権分立の仕組みについて理解を深める。 その際、各機関の抑制と均衡の関係性に着目する。 世界各国の政治体制も参考とする。 その上で、権力の在り方と課題について、考察する。</li> <li>4 基本的人権について、その内容、確立の歴史的経緯、政治制度との関連などについて理解を深める。 法の支配は為政者による恣意的支配の排除、議論に基づく統治を目指すものであると理解する。</li> <li>5 「公共の福祉」という考え方があることを理解する。</li> <li>6 国民主権と国権の最高機関たる国会を土台として、議会制民主主義が営なまれていることを理解する。</li> <li>7 日本の地方自治が、首長と議会を住民の代表として選ぶこと、団体自治と住民自治の原則にて運営されていることを理解する。</li> <li>8 民主政治は主権者たる国民の同意に権力の正統性を求める政治であることを理解する。 国民の価値観が多様化し政府に対する期待が大きくなっていることについて、理解を深める。</li> <li>9 国際機関が様々な活動を展開していることを知る。</li> </ol>

学習指導要領	都立六本木高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権に関する国際的な宣言や規約等について理解を深める。 国際法の制限の意義について、理解を深める。 領土問題に対する我が国の立場とその平和的解決について、ともに考察する。</li> <li>2 国際連合の主要な機関の機能や役割について理解を深める。 国際連合における集団安全保障の理念などについて理解を深める。</li> <li>3 我が国の安全保障における日米安全保障条約および自衛隊が果たしている役割について、理解を深める。 我が国の周辺各国の現状や課題について考察する。</li> <li>4 人類の平和的共存を実現するため、民族対立や国際紛争の背景にある、文化や宗教の多様性について相互理解を深めることが重要であることを理解する。</li> <li>5 国際平和の実現および地球上の貧困や飢餓の撲滅に向けて、我が国が果たすべき役割について考察する。</li> </ol>

学習指導要領		都立六本木高校 学カスタンダード
(2) 現代の経済	<p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済活動とは、分業と交換の仕組みを活用して人間生活の維持・向上のために行われるものであることについて理解するとともに、生産された財やサービスを効率的に分配するための仕組みとして、現代における市場経済が発達してきたことについて理解を深める。</li> <li>2 家計、企業、政府の経済的な相互関係が国民経済を構成していることについて理解を深める。</li> <li>3 市場経済の仕組みについて理解を深める。 公害問題や消費者問題を具体例として市場の失敗について考察する。</li> <li>4 物価や景気の変動の影響とその要因について理解を深める。 その際、バブルの景気など、具体例を通じて理解を深める。</li> <li>5 財政、特に租税の意義と役割について理解を深める。 公債依存度の上昇や消費税の増税といった我が国の財政が抱える諸問題について考察する。</li> <li>6 金融特に現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の機能について理解を深める。その上で、我が国の金融自由化の経緯について理解を深めるとともに、今後の課題について考察する。</li> <li>7 我が国をはじめとして多くの国々の経済体制が混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていること、国民経済が一国だけで完結しえないこと、景気変動や金融危機が世界的に波及することについて理解を深める。</li> <li>8 経済活動と国民福祉との関連について環境保全より経済成長を重視することで、公害などの外部不経済が発生し、その結果として国民福祉が阻害される場合があることについて、事例を通じて理解を深める。経済発展を優先する効率性を重視した考え方、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方を活用して、日本経済の望ましい在り方について、ともに考える。</li> </ol>

学習指導要領	都立六本木高校 学カスタンダード
<p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際分業および貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みについて、理解を深める。</li> <li>2 世界貿易機関（WTO）の主な役割や国際通貨基金（IMF）が果たしてきた役割について理解を深める。</li> <li>3 グローバル化が進む国際経済の特徴として地域経済統合があることを理解する。</li> <li>4 現代の国際経済における格差問題について、ともに考察する。</li> </ol>

学習指導要領		都立六本木高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題</p>	<p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題</p> <p>地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>1 少子高齢社会の影響、特に社会保障費の財政負担の増大について、考察する。</p> <p>2 持続可能な発展を実現できる、地方自治の在り方について考察する。</p> <p>3 少子高齢化や産業構造の変化、規制緩和などにより就業形態が多様化し、労働市場が大きく変化していることについて理解を深め、雇用と労働を巡る諸問題について考察する。</p> <p>4 大企業と中小企業の関係、その役割について理解を深めた上で、中小企業に関する問題について考察する。</p> <p>5 日本の低い食料自給率、農業従事者の高齢化などを前提として、日本の農業をめぐる諸課題について考察する。</p> <p>1 地球環境と資源・エネルギー問題における諸対立について理解を深め、在り方生き方について考察する。</p> <p>2 各国・各地域の経済的自立および地球の持続可能な発展について考察する。</p> <p>3 各々の人種・民族が固有の文化や宗教を持つことについて理解を深め、その違いや経済的な格差が相互の反感や差別と結び付いて、人種・民族問題を発生させていることについて、考察する。</p> <p>4 持続可能な社会の実現を図るため、各国・各地域が自国・自分の地域の経済的利益のみを追究するのではなく、世界全体の環境、平和と安全、教育などに貢献することが重要であることについて、理解する。</p>